

製品安全データシート

会社名 : 神栄産業 株式会社
 住所 : 東京都豊島区高田3-16-4
 担当部門 : クリーン環境グループ
 電話番号 : 03-5391-3561

作成 2003年12月8日

製品名(化学名、商品名など) : nezuyan
 : ネズヤン(忌避剤)

物質の特定

単一・混合物の区別: 混合物

化学名 : アリルイソチオシアネート 38%以上
 化学式または構造式 C_4H_5NS
 CAS No. 57-06-7
 化審法番号 No. 2-1689
 国連分類 クラス6.1(毒物類P.G.2)国連番号:1545
 EINECS No. 200-309-2

化学名 : イソパラフィン 39%以上
 化学式または構造式 $C_{12}H_{26}$
 CAS No. 68551-18-8
 化審法 No. 2-10

化学名 : モノカルボン酸(脂肪酸) 20%
 化学式または構造式 $CH_3(CH_2)_nCH_2COOH$ (n=11~17)
 官報公示整理番号 2-608
 CAS No. 544-63-8, 57-10-3, 57-11-4
 国連分類および国連番号:分類基準に該当しない

危険・有害性の分類

分類の名称 : 急性毒性物質、引火性
 危険性 : 火気に注意する。
 消防法上、可燃性固体類に該当する物質である。
 有害性 : 目、粘膜、皮膚を強く刺激する。
 皮膚等に炎症を起こすことがある。

応急措置

皮膚についた場合 : 製品に触れた部分を直ちに水または微温湯を流しながら洗浄する。
 石鹼を使ってよく落とす。
 外観に変化があるか、痛みが続く場合は直ちに医療措置を受ける。

眼に入った場合 : 清浄な水で最低15分間眼を洗浄した後、眼科医の手当てを受ける。

その他の場合(飲み込んだ場合) : 水でよく口の中を洗わせる。可能であれば、指をのどに差し込んで吐き出させる。
 直ちに医療措置を受ける。

火災時の処置

消火方法 : 初期消火は、風上から消化剤を火元へ放射する。
 水の使用は、火災を拡大する事があるので注意を要する。

消化剤 : 粉末・泡・炭酸ガス・ハロゲン化物等。

漏出時の措置

- 少量の場合 : 付近の着火原となる物を速やかに取り除き、火災を防ぐ。ウエスで拭き取る。
または、掃き集めて回収する。残りは多量の水で流し去る。
- 多量の場合 : 熔融時は土砂で流出拡大防止を図り、冷却・固化後掃き集めて回収する。

取扱いおよび保管上の注意

- 取扱い : 吸い込んだり、眼、皮膚、および衣類に触れないように適切な保護具を着用する。
周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。
労働安全衛生法、消防法、毒物及び劇物取締り法等の関連法規に準拠して作業する
静電気災害を防止する為の措置を講ずる
(アース、導電性材質、流速制限、不活性ガスシール、帯電防止作業衣等)
- 保管 : 日光の直射を避け、熱源より遠ざけるとともに、30℃以下で保管する。
室温下、屋内に保管する。
該当法規に従って貯蔵、取扱い、荷造り、包装、表示、運送を行うこと
(国、都道府県並びにその地方の法規、条例に従うこと)

暴露防止措置

- 許容濃度 : 日本産業衛生学会 設定されていない。
ACGIH

- 保護具 : 必要に応じ
呼吸器用防護具 防塵マスク
目の保護具 防塵眼鏡
皮膚の保護具
足の保護具
身体の保護具
頭の保護具
局所排気装置を使用する。

物理/化学的性質

- 外観 : 白色または微黄色の固体
- 比重 : 約0.88 (20℃)
- 沸点 (℃) : 148 154℃
- 融点 : 58 61℃
- 蒸気圧 : 1.23mmHg (30℃)
- 爆発範囲 : 0.7 6.5vol%
- 溶解性 : 水に不溶、ヘキサン・エタノール・ベンゼン・エーテル等に可溶

危険性情報 (安定性、反応性)

- 引火点 : 48℃以上
- 発火点 : なし
- 可燃性 : 消防法可燃性固体類
- 安定性・反応性 : 高温では自己重合を起こすことがある。

有害性情報

- 急性毒性 : ラット(経口)LD₅₀ : 115mg/kg
- 重金属分析 : 情報が入手できていない。
- 刺激性 : 情報が入手できていない。
- 感作性 : 情報が入手できていない。
- 変異原性 : 情報が入手できていない。
- 亜慢性毒性 : 情報が入手できていない。

環境影響情報

分解性、蓄積性等： 現在のところ知見なし。

廃棄上の注意

廃棄方法： 少量ずつ焼却するか、産業廃棄物処理認定業者に委託して処理すること
該当法規に従って廃棄物を処理すること
(国、都道府県並びにその地方の法規、条例に従うこと)

輸送上の注意

： 転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実に行う。
高温を避け、出きるだけ低温、暗所で輸送する。
消防法可燃性固体類に該当する為、火気厳禁とする。

主な適用法規

消防法： 固体時—可燃性固体類。 溶解時—危険物第4類第2石油類
労働安全衛生法： 引火性の物
船舶安全法： 危規則： 毒物類 別表第4

その他

記載内容の取り扱い

記載内容は、現時点で入手できる資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載データ及び評価に関しては、いかなる保証をなすものではありません。

また、注意事項は通常の取り扱いを対象としたものですので、特別な取り扱いをする場合には、更に用途・用法に適した安全対策を実施の上、御取り扱い願います。

引用文献

- 1) 日本化学会編：化学便覧 改訂3版 丸善 (1988)
- 2) 日本化学会編：化学防災指針 丸善 (1988)